

政策調整会議の概要

開催日 平成 30 年 10 月 15 日 (月)

◎項 目

- 1 平成 31 年度予算編成方針について【総務部】
- 2 平成 31 年度知事部局組織・定数の改正方針について【総務部】
- 3 所属別時間外勤務の状況について【総務部】
- 4 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】
- 5 議会への提出物のチェックについて【総務部】

◎内 容

1 平成 31 年度予算編成方針について【総務部】

総務部より、平成 31 年度予算編成方針について説明及び協議が行われた。

(総務部)

スクラップアンドビルドを徹底し、事業のさらなるバージョンアップを促進するため、予算要求前から全庁的な協議を実施している。この結果を予算要求に反映させるようお願いする。また、南海トラフ地震対策と合わせて、豪雨災害対策についても推進することとしている。

2 平成 31 年度知事部局組織・定数の改正方針について【総務部】

総務部より、平成 31 年度における知事部局の組織・定数の改正方針について、説明及び協議が行われた。

(総務部)

知事部局については、引き続き、3,300 人体制を維持する方針である。全体最適の観点から、業務執行体制や効率的・効果的な業務のあり方の見直しを行うとともに、時間外勤務の状況も参考に、全庁的な調整を行う。

各部局においては、業務の外部委託や不要不急の事業の見直しなど、業務のあり方を見直しいただきたい。業務の増大への対応は、部局内のスクラップアンドビルドによる再配置を基本とすること。

3 所属別時間外勤務の状況について【総務部】

総務部より、所属別時間外勤務の状況について説明及び協議が行われた。

(総務部)

8 月は対前年比で時間外勤務が増加している。7 月の豪雨災害とそれに伴う補正予算等の対応が原因と思われる。

長時間勤務が発生している所属に対してはヒアリング等も行っており、状況を把握しながら原因となっている課題の解決につなげていく予定である。

(副知事)

予算の編成方針、組織・定数の改正方針の両方に共通して言えることは、スクラップアンドビルドを徹底するということである。新たな事業については、関連する事業

や人員体制をしっかりと確認し、思い切った視点で見直しを行い、取り組むように。

4 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の主要な取り組みに関する資料を配付のうえ、各部局等による概要説明があった。

<主な協議の概要>

○災害義援金について

(地域福祉部)

9月末で募集を締切り、現在取りまとめを行っているところである。10月29日に配分委員会を開催し、被災者のお手元に届くように作業を進めていく予定。

○ジャポニスム 2018 へのよさこいチームの派遣について

(観光振興部)

日仏友好 160 周年を記念し、フランスで開催される日本の文化や芸術を発信するイベント。全国から 12 自治体が参加し、当県からは昨年のよさこい祭りのグランプリチームとフランスのアンバサダーチームが合同で演舞を披露する。また、ブース出展で高知県観光のPRも行う予定。

5 議会への提出物のチェックについて【総務部】

総務部より、議会への提出物のチェックについての説明及び協議が行われた。

(総務部)

議会への提出物について、誤りが発生しないように各部局でチェック体制等について今一度議論をしていただきたい。その上で、企画会議においても議論を行い、再発防止策を知事に報告することとする。